



<p>学個別校力・標教師力を向上させます</p>	<p>校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。</p>	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。</p> <p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。</p> <p>③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。</p> <p>④ICT機器の利活用についての校内研修を行い、研修で得た手法を授業に生かしている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者アンケートで「教員は、子どもの基礎的・基本的学力的定着のために授業を工夫していますか。」の肯定的回答の割合</p>	<p>4:80%以上</p> <p>3:70%以上</p> <p>2:60%以上</p> <p>1:60%未満</p>	<p>保護者「教員は、子どもの基礎的・基本的学力的定着のために授業を工夫していますか。」 肯定的回答の割合 98.0% 生徒「先生の授業は、分かりやすいですか。」 肯定的回答の割合 98.8%</p> <p>・学校公開の参観者のアンケートの結果を全教員で共有し、授業改善に努めている。</p> <p>・年3回の校内研修では、研究授業を実施し、外部講師を招へいで指導・講評を受け授業者への還元を図っている。</p> <p>・今年度のテーマは「ICTを活用した、主体的・対話的で深い学びの実現」である。授業者以外の教員が研修会を通して何を学ぶことができたのか等についても振り返り、より充実した研修にする。</p> <p>・教職員の業務負担は依然として大きく、大きな課題である。生徒と向き合う時間を確保するため、各種アンケートや配布物のデジタル化を進めている。また、教職員間の連絡でも校務支援システムを活用し、デジタル上での情報共有・周知などに取り組み、業務改善に努め、生徒と向き合う時間を確保している。</p> <p>・三者面談を年2回実施し、生徒だけではなく保護者とも向き合いながら、生徒一人ひとりの成長のために学校と家庭が相互に支援できるようにしている。</p> <p>「先生の板書や電子黒板の提示は分かりやすいですか。」 肯定的回答の割合 保護者96.0% 生徒98.8%</p> <p>・ICT活用のための校内研修を年4回実施した。多くの教員がタブレット端末を特許して授業を行っている。今後も研修の充実を図りながら効果的な活用方法に向けて取り組んでいく。</p>	<p>A 10</p> <p>B 0</p> <p>C 1</p> <p>D 0</p> <p>○真面目で一生涯懸命な生徒の皆さん、そして生徒を育ててくれる校長先生はじめ副校長先生、教職員や関係者の皆さんには、モチベーションが上がる環境づくりをしっかりと行っており、その体制づくりに感謝します。</p> <p>○生徒・保護者・教職員がより身近に関わり合い、互いに理解を深めながら共に子ども達の成長を支えている関係づくりができると、授業力の向上につながるのではと考えます。</p> <p>○保護者アンケート結果から、保護者の満足度が高く一つの家庭への支援が行き届いていると感じる。</p> <p>○先生方がより良い環境で余裕をもって生徒に向き合えるようにすることは、国をあげて取り組んでもらいたい課題と思います。</p> <p>○開校70周年時に、教師の皆さんが奮闘している姿を多く拝見しました。そのような教師の姿が生徒たちに届き、良い効果となって生徒の行動に現れたと思います。</p>
<p>た自個め分別の目学し標びく5をいき援助いきと生きる</p>	<p>困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ることによって、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。</p>	<p>①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。</p> <p>②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p> <p>③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。</p> <p>④生活面での指導が必要な際は、生徒の心情に寄り添いながら、毅然とした姿勢で行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者アンケートで「人のいやがることをしたり、行ったりしていない。」の肯定的回答の割合</p>	<p>4:90%以上</p> <p>3:80%以上</p> <p>2:70%以上</p> <p>1:60%未満</p>	<p>A 9</p> <p>B 2</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p> <p>○学校における様々な問題、特にいじめについては、いじめ防止基本方針に沿って未然防止、早期発見、対応を教職員で行っていると感じます。それは、学校公開・運動会・その他イベント等での教職員の皆様を見ていただくと本当によく分ります。学校の多くの皆さま全員で頑張っている実態が素晴らしいと思います。</p> <p>○保護者との連携を一層深めることで、家庭と学校が協力したいじめ防止につながると考えます。</p> <p>○保護者を含め多様な考え方がある中で、様々な取組により支援が行き届いている。</p>	
<p>安柔個心軟別なで目教創標育造6環的境なを学ぶ空間と安全</p>	<p>学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。</p>	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p> <p>②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者アンケートで「学校施設は安全が確保されており、生徒に対して災害等発生時の対応について指導している。」の肯定的回答の割合</p>	<p>4:80%以上</p> <p>3:70%以上</p> <p>2:60%以上</p> <p>1:60%未満</p>	<p>A 10</p> <p>B 1</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p> <p>「学校や社会の決まりを守って生活することができましたか。」 肯定的回答の割合 保護者100.0% 生徒98.8%</p> <p>・学校生活の基盤となる生活指導を徹底し、安心・安全に学習に取り組める環境を整えている。</p> <p>・定期的に教室などの施設安全確認を教員が実施し、安全上問題がある状態が認められた際はすぐに補修などの対応を行った。</p> <p>「避難訓練にまじめに取り組み、災害について考えることができましたか。」 肯定的回答の割合 保護者99.0% 生徒99.2%</p> <p>・毎月実施している避難訓練では実施方法を工夫して生徒が主体的に取り組めるようにしている。災害等発生時に自ら行動できるように指導している。</p> <p>・仮設校舎移行に伴い、生徒が安全に避難できるように避難経路の見直しを行った。</p> <p>○災害発生時に学校が拠点となることを踏まえ、教員・生徒・保護者が一体となって訓練に参加し、共通理解を深めていくことが重要であると考えます。</p> <p>○学校の基本は、生徒が安心・安全に学べる環境を整えることだと思いますので、現状の取組の推進を引き続きお願いしたい。</p> <p>○校舎改築中で様々な障害がある中でも、学校は工夫しながら教育環境を整えていると思います。</p>	
<p>学地学個別校力・標教師力を向上させます</p>	<p>地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。</p>	<p>①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。</p> <p>②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。</p> <p>③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。</p> <p>④地域行事へ参加して地域の方と連携したり、学校行事で地域の方から協力を得たり、地域と連携した活動を実施している。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者アンケートで「学校は教育活動の推進について地域の協力を得ている。」の肯定的回答の割合</p>	<p>4:80%以上</p> <p>3:70%以上</p> <p>2:60%以上</p> <p>1:60%未満</p>	<p>A 10</p> <p>B 0</p> <p>C 1</p> <p>D 0</p> <p>保護者「学校は、よりよい環境で教育活動が実施されていますか。」 肯定的回答の割合 98.0%</p> <p>・保護者、地域に対し生徒の活動を、学校よりや学年だより、ホームページや情報連絡ツールなどで発信することができた。</p> <p>・地域教育連絡協議会を年間複数回実施し、学校と地域の間で情報共有を図ることができた。</p> <p>・学校支援地域本部の協力により、校内の緑化に向けて活動することができた。</p> <p>・各種学校行事の運営補助、登下校見守りやあいさつ活動にPTAの協力を得て実施することができた。</p> <p>保護者「学校は、学校行事などで地域の方の協力を得て活動していますか。」 肯定的回答の割合 99.0%</p> <p>生徒「学校行事やボランティア活動などで、地域の方と一緒に活動することができましたか。」 肯定的回答の割合 81.9%</p> <p>・地域のお祭りや行事に生徒が参加し、地域活動に貢献することができた。しかし、参加できたのは一部の生徒に留まっている。</p> <p>・次年度以降はコミュニティスクールが導入される。現在の活動を更に充実させ地域のコミュニティの核としての学校づくりのために、地域の方の協力も必要となる。休日の活動が多くなるため、教員の働き方改革なども考慮しながら、できるだけ多くの教員が地域に貢献できるように働きかける。</p> <p>○安心・安全な教育環境作りでは、特に当自治会地域の歴史と伝統に包まれた学習環境を大切にいただいている学校には感謝しています。また、そのような中で教育と共に学習環境も大切にしながら、学校と家庭と近隣地域が互いに協力し合って活動しています。</p> <p>○地域行事である夏祭りには、生徒会の皆様のご協力をいただきありがとうございました。小さい子ども達との交流があり、景品を渡す姿は大変微笑ましく思いました。お祭りや盆踊りにも参加していただけたとうれしいです。</p> <p>○今後も地域との情報交換を大切にし、協働によるより良い学びの環境づくりが進むことを期待します。</p> <p>○文化センター祭りや職場体験等で地域で生徒の活動する姿を見ることがある。挨拶をきちんとし一生懸命に活動している姿を見ると応援したくなります。</p> <p>○保護者アンケートによる地域との連携の肯定的回答の割合が少し低い。コミュニティスクールの導入により、学校と地域が連携した事業スキームを構築する必要がある。</p> <p>○町会主催の防災訓練等においては、参加する中学生はほとんど見かけないのが現状です。学校側でも参加を促してもらいたいと思います。</p> <p>○地域と学校が連携しながら開校70周年式典を進めることができた。その連携は地域社会と学校との関係性により良い効果を与えた。</p>	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。  
 ○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。  
 ○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。